

野党連合に未来、政権党は閣僚辞任ドミノ！ —後援会秋の行事で岡野長寿市議があいさつ—



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

秋晴れの11月4日(祝日)共産党尾道市後援会の秋の行事(バーベキュー)が行われ、4月の市議選、7月の参院選での奮闘をお互いねぎらい、次なるたたかへの決意を固め合う日となりました。岡野長寿市議が現在の政局の特徴について、三浦とおる市議が初当選後の市議団の奮闘ぶりを報告しました。

市民のくらしを守る政治を、国も市も！



岡野市議は、文科大臣萩生田氏の「身の丈発言」は教育の機会均等を何もうかがっていない。辞職に値すると批判。「経済産業大臣、続く法務大臣辞職と政権党は統治能力を失った。一方、野党

岡野連合は、地方の知事選で勝利し、高知知事選でも連携を深めている。

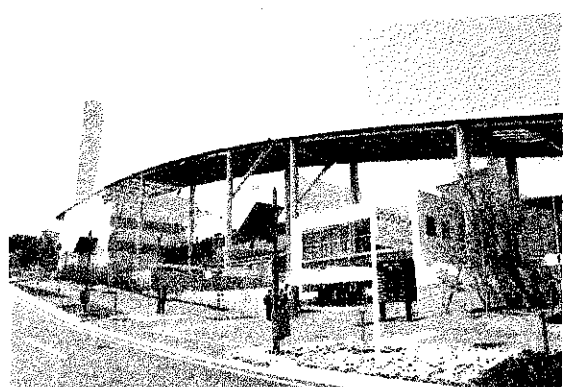
消費増税に続き、社会保障改悪をねらう政権の転換と防波堤となつて市民を守る地方政治の役割がいよいよ重要、三浦市議と力を合わせてがんばる」とあいさつしました。

教え子前に力説！

三浦とおる市議は、6月、9月一般質問、10月決算議会でもがんばつた様子を報告。幼児教育の真の無償化、特別教育支援員の増員や放課

- ① 廃棄物を安全かつ安定的に処理する施設。
- ② 地域を守り市民に親しまれる施設。
- ③ 環境啓発・体験型学習及び情報発信ができる施設。となつており、厳しい環境基準をクリアし

厳しい環境基準を達成。避難場所としても万全。有料化は問題



今年度より稼働しているごみ処理施設「バリクリーン」。この施設は、最先端の処理技術により廃棄物を適正に処理しゴミの資源回収や焼却熱を利用した発電などを行つていくと説明を受けました。

また、災害時の避難場所としての機能を備えているとの説明もあり、様々な機能を持った施設でした。素晴らしい環境性能もあると感じました。

を持った施設でしたが、建設費が約12.8億円。稼働コストが公設民営方式で年間約5億円と説明を受ける中で、今治市の場合「ゴミ収集の有料化」を行つており問題点も感じました。家庭ごみ排出量の削減等には有効なことであると感じましたが、同時に、市民の家計負担の増加や、有料化に伴い不法投棄に対する懸念などを考えると様々な課題もあると感じました。

最新機能のごみ処理施設。最新の施設ではあるが問題点も

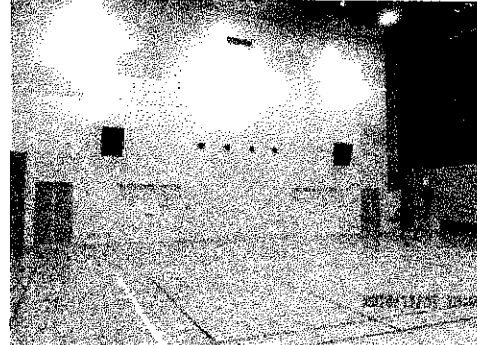
11月1日尾道市議会は今治市議会との姉妹都市合同研修会で、今治市にできた新しいゴミ処理施設を視察しました。岡野、三浦の両市議も参加し、今治市の松田すみこ市議とも意見交換を行いました。



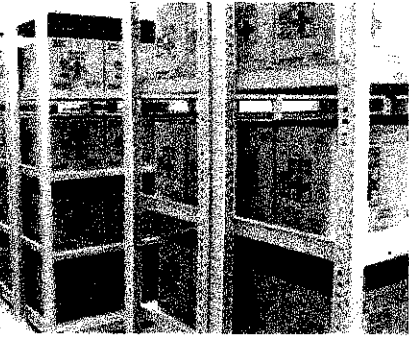
焼き肉が終わり、女性後援会がスコラが美島が響きました。



後児童クラブの指導員配置など、自身の経験に基づく内容の披露しました。



エアコン設備がある附属体育館



1週間分の災害用備蓄品倉庫

環境に優しい施設で、ゴミを焼却するときの熱を利用して発電も行うっており、その発電した電力で施設内の様々な機能を運営していました。

また、大規模災害時の拠点としての機能も持ち合わせており、最大320人の避難場所として使用できるよう、1週間分の水や食料

の備蓄もあり、これからの施設の在り方の一つのモデルであると感じましたが、同時に課題も多く考えさせられました。

課題の一つとして、ゴミの有料化の関係で、ゴミの分別が曖昧で、不燃ごみの中に空き缶、ペットボトル、電池等が混在した状態で運び込まれていました。これらの不燃物は手作業で作業員が取り除いていましたが、全てを取除くことはできないと説明を受け、尾道の厳しい分別方法の方が優れていると感じました。

有料化については、ゴミ袋一枚約30円。持ち込みの場合10*100円と市民に大きな負担を強いていることについては大きな問題点であると感じました。